婦人と新社會

山田わか主筆

五月號

大正九年三月二十三日第三種郵便物認可
大正十五年四月二十三日印刷納本

精神界の一部なる肉體
理想と現實
理想と空想
理想と實證主義
理想に接近する方法
新離婚法に對する露國民の不滿
最近の事實
二十人の妻
離婚と荒廢した農園
當局の無英斷と帝都復興
——編輯の後——

毎月一回一日發行　第七十四號　大正十五年五月一日發行

東京府婦人と新社會出版部發行

精神界の一部なる肉體

最下級の動物も最高な動物なる人間もかたちこそ違へ、皆聯絡してゐること、同時に一つの原則則ち、生命の原則の生長を凡ての生物に認めることを我々は生物學から學ぶと同じく、全人類のあらゆる種類の肉體的生活のうちに一つの原則が活動してゐることを認める。そして、その原則とは精神界に於ける靈の力である。

生命の原則の最高な最も純な、そして、最も充實した發達は、則ち、その生命の內容の價値と意義とに唯一の手がかりである此の原則は人間種族の標本則ち最高な人格者のうちに見出さるる。云ひかへれば最も高尙な最も純粹な最も充實した生命の發達は、いはゆる聖賢によつて代表されてゐるのである。

思ふに、無限の生命原則が聖賢の人格のうちに一種の有限のかたちとなつて現はれたのである。それと同じく、ものを精神的に見ると云ふことは、自然界に於ける最高な規則であり基礎である愛の概念のうちに有限の一種を認めることである。

ロッツの言葉で云ふならば、人間の心が其の發達の過程に於て、各人のうちに他の人のたすけを借りて自然界を建設した。そして、其の後、偉人の共同と引きつゞいた勞力とによつて眞善美の世界が建設されて、そして、各人毎日の生活のみならず、理想と稱する世界の概念をもこれが支へるようになつたのである。

此處に肉體と精神、感情と理性の一致がある。（メルツ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

理想と現實

理想と空想

肉體にのみ、乃至、物質にのみ生きてゐる人間は動物です。最高な動物であるかも知れませんが、併し、動物の範圍を脱してゐないことは同じです。

そして、動物に理想はありません。

けれども、肉體に心が付け加へられて人間の進歩は無限となります。物質に對してのみあせつてゐた者が光りに向つてあせるようになり、獲物をのみあさつて居た者が眞理を探す獵人となります。

そして、益々大きい、益々遠い理想を持つようになります。

處で、その理想なるものは益々大きく、益々遠くなる性質のものでありますから、一體、理想と現實とは、先づ、普通には永久に接近し得ないものであるように私は考へてゐます。

遠い處に理想があり、そして、一歩々々と其處に到達しようと努力する。けれども、其處に到達して、そして、滿足して踏み止まつて居ると云ふようなことはなく、又其の先きに理想をかたちづくると云ふのが心を持つた人間の性質であり運命であらうと思ひます。

且つ、又、最初に持つた理想にまだ到達し得ないうちに、其處に時間と云ふ要素が這入つて來れば、理想それ自身も自分自身も亦變つて行きますから。

これは丁度數學で云ふ函數と變數のようなも

のです。此の二ツの言葉のうちに含まれた數理が理想と現實の關係を說明するに最も適當であるように思へます。

　なぜなら、常に變化しつゝある自然現象と云ふ要素は凡ての科學凡ての哲學に於て變數と云ふ言葉で云ひつくされてゐます。

　私共の生活を細かに分析して見るならば、それはいろ〳〵の要素から成り立つて居つて、其の要素の一ツでもが殖えない間は其處には少しも進歩がなく、所謂歷史を繰り返へしてゐるのですが、併し、人生を時間的に見るならば新らしい要素は各瞬間に這入つて來てゐます。そして歷史は繰り返へさないことになつてゐます。つまり、結果はいつも同じではないのです。

　故に其の間の關係を說明しようとすれば、一ツ〳〵の要素、乃至はいくつか聯結した要素は何時、何處で、どう云ふ風に變化するかを硏究する必要があります。それを詳細に調べることが出來て、始めて、如何にすれば理想と現實とを接近させ得るかを知ることが出來るわけです。

　一つの理想を持つて、そして唯單に其處へ接近して行かうと希望して居た處で、唯、希望して居たゞけでは永久に接近することは出來ません。又、たとへ、實行に取りかゝつた處で、いろいろの要素が其の間へ這入つて來ることを豫想しそれに對する準備をして置かなかつたならば、それは實行不可能になつてしまひます。

　卑近なことを例にとつて見るならば、先づ、私共が伊勢神宮もうでをしようと云ふ理想を持つてゐるとします。そして、その理想に卽ち伊勢神宮に接近するにはとにかく家を一歩踏み出さなければなりません。家を踏み出しもしないで、唯、心に思つてゐるだけでは永久に伊勢へ到達することはありません。

處で、唯、家を踏み出したゞけでは成功は覺束かない。家を踏み出す前に、途中の乘物と云ふ要素、それに對する費用、日數、不在中の仕末と云ふ要素が其處にあります。それ等の要素を見込んで、それに對する準備として、いよいよ實行可能即ち出立と云ふことになつても、さていよ／＼と云ふセトギハに天氣と云ふ要素、又は、汽車と云ふ要素に故障が出來たり、又は自分自身の建康がどうかしたり何にか差し支へが起つたりしないとも限りません。つまり、前もつて考へて置いた要素の外にいろ／＼な要素が後から／＼と這入つて來るかも知れないのです。

　ですから、たとへ實行に取りかゝつても、いよ／＼目的に到達することは容易ではないのですから、實行にも取りかゝらず、實行のための何等準備もせず、唯、心に思ふだけであつたり、又は、到底及びも付かない實行不可能な理想を立て、其の實行不可能を歎く向きも世間には少なくないようですが、さう云ふ想像上の理想、即ち、空想を抱いてゐる人達が理想と現實との間の距離の遠いのをつぶやくのは無理であるやうに私は思ひます。

　そして、何等實行に必要な要素を見込みもせず、所謂理想のみを想像する人は、實は理想を夢みてゐながら舊習に生きてゐる人であります。

理想と實證主義

　人類學の著者ラッツエル博士は「人間の進歩は植物の成長のようなもので、鳥の空を飛ぶようなものではない」と云つて居りますが、これは、人間は肉體を持つて居り、經濟を基礎として居り、同時に地理的環境の影響を受けねばならぬものであるから、地に根を張り、芽を出し幹が太くなり、花を持ち實を結ぶと云ふ順序に

行かなければならぬ。他の言葉を持つて云へば足が地について居なければ本當の進歩はない。植物の成長とは行き方を異にし、鳥の空中を飛ぶような行き方は所謂空想であつて、これは一時はどんなに高く飛ぶように見へても、足が地についてゐないから本當の進歩とはならぬと云ふのです。

　此處で、又、一ツ卑近な例を取るならば、生活改善と云ふことにしても、今、現に、私共に許されてある經濟の範圍内に於て實行可能な提案であるならば、たとへば、從來の臺所は働きにくい、が、これをこう云ふ風に改良すれば――勿論僅かな費用で――便利だと云ふような提案であるならば私共は喜んで耳を傾けます。

　けれども、臺所を全然改築しなければならぬような、又は、高價な器具を買ひ入れなければならぬやうな提案であるならば、其れは現在の私共の生活には何等の用を爲しません。さう云ふ提案は貧弱な經濟の基礎の上に生きてゐる私共の生活には何等觸るゝ處がない、つまり、その提案は、私共の生活のためには地に足がついてゐない、鳥の空を飛ぶようなもの、即ち、空想になつてしまいます。

　これが所謂理想のみを見て、理想と現實との中間へ當然來るべき種々の事情と云ふ要素をぬきにしたものです。これは事情であつて情實ではないことを御斷りして置かなければなりませんが。

　地に足がついてゐなければ理想ではなく空想だと申しましたが、地に足をつけてゐることを標榜してゐる「實證主義」ですらも其の點は眞に怪しいものです。たとへば、初期の「實證主義」を許してフューイエは云つてゐます。

「實證主義は何ものを見ても驚かない。何ものに對しても怒ることをしない。凡てのものを理

解しようとし、理解した時には其の法則の知識を現象界を支配するために利用しようとする。他人の悪意に對しては火や水の害に對すると同じ態度で自分を守らうとする。人類を養ふ穀物の收穫を保存すると同じ氣持ちで有益な行爲を保存する。何は置いても好結果を得るために主義主張を實現しようとする。が、もし其れが期待にそむいても——そむいたものが人であれ物であれ——それを責めようとはしない、そむかれた原因を研究し、そして、そむいた物や人を變更しようとする。かくして、哲學者の云ふ不變化の善を斥け、彼等の信ずる眞理をうつて滿足し、そして、禍なるものは誤解或ひは無知であるときめてゐる。眞理の光りによつて利益を生まうとし、習慣及び其の他の形式のうちの美を享樂し、憎惡や憤怒、醜、粗暴、殘忍を避け凡てのものは其のあるがまゝに存在してゐるのだとし、虎は多くの肉を要素する一ツの胃腑に過ぎず、のんだくれも多くのアルコールを要求する矢張り一ツの胃腑であり、殺人罪を犯す人間は血液を多分に含んだ一つの腦漿だと云ふ……」

　これ等の言葉は、その言ふ處だけを聞いて居れば面白いばかりでなく一應はうなづけるような氣持ちがします。けれども、さて、其れを實際生活に當てはめて見ると變なものになつてしまいます。虎やのんだくれを一個の胃腑と見るのは理窟に於ては首肯できても、併し、現に、人間を食ふ虎を見て、又は、妻子及び周圍の人々に非常な迷惑をかけるのんだくれを見て、或ひは又、人が殺される處を見て、感情を動かさずに居れる人が果してあるかどうか？　私は感情を動かさずに居れる人は無いと思ひます。

　實證主義者の云ふやうに人が理智のみで滿足して居られるように出來て居れば好都合ですが併し、事實はそれに反して、人間はむしろ感情

の動物です。そして、此の感情を動かすと云ふのが即ち實際生活であるのです。ですから、此の感情と云ふ大要素を無視して立てた議論は其れがどんなに立派に見へる議論でも其れを實行に移すことは不可能です。要するに、それは空想です。

理想に接近する方法

　高邁な理想と現實とを對照して見せるならばそれは、未熟な頭の青年男女の心をそゝるに好都合です。そして、机上に於ては、其の理想と其の理想に向ふ實行とのそろばん勘定はよく合ひます。

　けれども、其れが事實と遠ざかつてゐる場合ひが多いことをいろ〳〵の方面から上に云つて置きましたが空想を理想と信じて沸かしてゐた興味が大きければ大きい程、それを空想と知つた時の失望は大きいものです。

　其處で、私共の生活を進歩させる理想なるものは現實に近ければ近い程有益だと見なければなりません。且つ、又、誰にでも實行可能な理想が最も有益です。

　云ひかへれば、私共が今現に持つてゐる一ツの理想が如何に卑近なものであつても、其の理想に到達することによつて、もう一ツ上の理想がかたちづくられ、そして、其處へ到達するための準備となつてゐる。つまり、卑近な一ツの理想に到達することは無限な高尙な理想へと進み行く一階段であらねばならぬものです。

　未熟な頭が持つ理想は いきなり大きくて高い。そして、現實とはあまりに隔りが多いために、いつの間にか其の理想を低下させ、小さくしてしまいます。それに反して、私が有益と認むる理想は、開いた扇で云へば先づカナメに到達することです。其處を第一歩としてだんだん高くなるに從つ廣くなると云ふ行き方です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理想と云ふ高い山の頂上を目がけて、いきなり、飛び上がらうとして中途で落ちるよりも、少さい理想の段々をいくつも造つて、足を地に付けて其の段々を一ツづゝ〳〵登つて、ツイに頂上に達する。

かくして、理想と現實とは接近して行く、つまり、理想と現實との接近は段階的であらねばならぬものだと私は信じます。

新離婚法に對する露國民の不滿

最近の事實

露國に於ては、新結婚法發布以來、普通・政治に參加しない國民の大部分が登錄結婚と無登錄結婚の區別をしない此の新結婚法には反對してゐたが最近に至つて、此の結婚法に對する反對意見が一大潮流となつてゐる。

此の新結婚法によれば離婚は、唯、一片の屆け出にとゞまつてゐる。從つて男子が如何に多妻主義を實行しても最初法律上の結婚をしてゐる妻が何等の法律上の保護を受けることができない。殊に、田舎の婦人達は新結婚法が婦人の生活から凡ての安定を取り去り、そして、その結果は雜婚の不德行爲の增加の外は何ものも持ち來たらさないことを益々烈しく苦情云ふようになつた。

長い間、婦人達のさう云ふ意見はハツキリと發表されてゐなかつた。從つて政府はそれ等の婦人の苦情を無視することができてゐた。けれども、此の頃になつてはそれ等の婦人の意見が烈しくなつて來た上に政府筋の意見が其れに贊成し、男女の代表者をモスコーの全露國中央執

行委員會に送つて新結婚法に對する彼等の深い意味の不滿を訴へることになつた。

此の中央委員會なるものはソヴイエト共和國聯盟とは別な社會主義共和國のいはゞ國會である。

二十人の妻

代表者等は彼等の不滿を大膽に發表したのであるが彼等のうちの一婦人代表者は次のように云ふ。

「露國の男女が此の頃のように不道德になつた責任は全然現行結婚法にある。一人の男が二十人位の妻を持つと云ふことはザラにある。一人の婦人と一週間同棲し、次の婦人とは二週間同棲すると云つたように。そして、殆んどどの妻も一人づゝ子供が生まされてゐる。が、一人の男が凡てのそれ等の子供等を支へることが出來ないのは當然である。何となれば、石から食物は得られない。故に、子供等は犬か猫の子のように捨てられる。從つて無數の浮浪兒童の問題がある。勿論これ等の子供を善良な市民に爲さうとすることは不可能事ではないが、併し、さうするに付て彼等を世話するものが無い。故に結局は彼等が野生になりほうだいである」と。

此の言葉が決して誇張でないことは內務委員ペロプロドツフ氏も亦其の事實を認め、內務委員の資格で

「子供等が放浪するようになつた原因の大部分は一制度としての家庭と云ふものが破壞されたことである。實に、今日の露國の家庭は壞滅の過程にある」と發表した。

法律は、適法兒であれ、私生兒であれ、凡ての子供に對して、父たる者が一部分の養育費を負擔すべく規定してある。つまり、彼の子供を生んだ婦人に彼の賃銀の三分の一を與へるように法律は彼に命ずる。處で、實際に於ては此の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

法律が、非常に亂用されてあることに歸し委員の一人が云つてゐる「一ケ月百八十ルーヴルの賃銀を取る熟練職工が一ケ月に三十ループル乃至四十ルーヴル位ひしか取ることが出來ない婦人によつて求愛せられる場合がある。そして、どうかこうか彼女は此の男を自分のものにし、そして彼の子供を生むとする。その結果として彼女は彼の收入の三分の一則ち六十ルーヴルを當然月々受け取るようになる。そして、この方が彼女のために都合がよい」と。

　此の委員の此の言葉を聞いた時に外の委員の全部は大聲で笑ひ出した。併し、これは笑つてかたづけてしまう程容易な問題ではない。これに加はふるに、夫婦のいづれかが働くことが出來ない場合ひには相互が助け合はねばならぬと云ふ法律も亦非常に亂用されてゐる。たとへば働くことの嫌ひなのらくら男が女の收入によつて生活しようとして勤勉に働いてゐる婦人を探し出して結婚する場合が澤山ある。又、一方には働ける丈夫な體をもつてゐながら眞面目に働く男子と結婚して遊食してゐる婦人もある。共處で、委員の一人は「至る處に於て、殊に、都會に於て、男にしろ女にしろ自分の配偶者を食つてゐる寄生蟲が今日の露國には無數にある」ことを發表した。

離婚と荒廢した農園

　離婚があまり簡單に出來ることに對する一般の反對の態度はなか〳〵強くなつて、田舍地方に於ては常に起る離婚の不幸の結果が特別の注意を惹きつゝある。離婚の際、凡ての財產を何の用捨もなく分割することを規定する法律は多くの農園を唯破壞に導くに過ぎないと云ふことが摘發されてゐる。たとへば、最後の一疋の馬最後の一疋の羊、最後の家禽など、こう云ふ種類の財產までもが離婚の場合ひには分割するた

めに賣り拂はねばならない。そして、こう云ふ法律があるために、唯單に財産の半分を得る權利を獲得するために、其ゝ權利を獲得しさへすれば直ちに離婚する考へをもつて結婚する男女が澤山ある。一例を擧げるならば、中年以上の婦人が、まだ世間を全く知らない、けれども、幾分の財産を所有してゐる子供のような男をだまして、結婚すると云ふように。

その結果として小さい農園は皆つぶれてしまう。そしてその結果は全體としての露國が貧弱になるばかりである。で此の委員會の討論を要約すれば「あまりに自由な離婚法に反對する一大輿論が釀造されつゝある」と云ふことであつた。

併しながら、此の委員のうちの男性の一委員が經濟上の見方とは別に道徳の見地から此の法律を擁護しようとした時に多くの婦人の委員は大いに其れに反對して、勝手に離婚できる現行結婚法の容易ならない結果に對して大いに論じそして、不道徳を彌慢させることになつた新結婚法を如何に修正すべきかと云ふ問題に關して或る提案をした。

つまり、結婚を登錄した妻は無登錄の妻よりもより多くの利益を持つこと、そして、其の妻に生れた子供は他の妻に生れた子供によりも特別の保護を與へると云ふ提案であつた。そしてその提案は特別委員會に附せられた。

此の特別委員會は此の問題をよく研究し、正妻一人ならば少しも困らない家庭が、夫に幾人かの無登錄な妻があるために、極端な貧乏に陷り苦しんでゐる場合ひを如何にして改善するかを考察することになつた。（ホーム・エンド・ポリテックより）長い經驗を無視した共觀のない理論が、今日の複雜な人間生活を支配しようとする時に、如何に其れが無能、否、有害であるかを露國の此の新結婚法が有力に立證しました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當局の無英斷ご帝都復興

私共の日常の生活を爲して行くにも先づ理窟ばかりでは到底やつて行けないことは誰でゝ知つてゐます。そこには理窟以外の或るものがどうしてゝ無くてはなりません。一個人の生活に於てばかりでなく一區、一市、一府、一國も亦さうです。其處で、この理窟以外の或るものが正しい方向に活躍すると、しないとによつて一個人、一區、一市、一府、一國の幸と不幸が分れて來ます。

そして、その理窟以外の或るものとは正直な英斷と云ふことです。その英斷を爲し得ないと云ふことは、たとひ、例外はあつても消極的で卑劣です。で、一般に無能と稱するものも實は此の卑劣の根生です。一個人の生活にしろ一區、一市、一府、一國の生活にしろ殊に非常時には到底普通の理知では解決できるものではありません。普通の場合ですらも人間の生活には理知に殆ど超越した大英斷を要する場合があるのですから、非常時に於ては特に大英斷が必要なのです。

私が、今、此處に云ひたいと思ふ處は、震災後既でに二箇年半を經過して大額の金を何等の結果を生まずして官民共に費してゐることです。大金は費したが併し何等復興の光りの見えないのはいろ／＼の原因があるとしても、何にしろ當局者の大英斷のなかつたことに原因することはもはや否むことはできないと思ひます。それに加ふるに當局の費した金額と物資の使ひ方は、唯に積極的には復興をさまたげてゐるばかりでなく、消極的にはどれだけの浮浪の徒を造つたか分りません。實際の都市の再建設の代りに空中樓閣の建築に費した金と勞力は非常なものです。

だんてきに云へば、當局に英斷がなかつたために復興の精神が殺されてしまつたのです。そして市民が活動することの代りに惰けてしまつたのです。當局の英斷が無かつたために復興の第一歩、都市の區劃を困難

ならしめてしまひました。

當局の英斷がなかつたために内外からあつまつた配給品を殆ど空費してしまひました。當局に英斷がなかつたために數十萬人の乞食と不正官吏を造つてしまひました。

當局の英斷が無かつたために無用な官吏と失業者を造つてしまひました。

そして東京市はそれ等の禍に苦しめられて、その方に精力を取られて復興事業が後廻しになつてゐるやうな觀さへあります。

實に、今日の東京府及び市の下に働いてゐる大勢の官吏の不正と怠慢と不完全な仕事、工事の粗ろう、それい市民がどんなに努力して稅を納めても何にもならない。市民が血とあせの結晶なる稅金を納めても、それは市が復興する代りに何處かへ漏れてしまつてゐます。

要するに震災當時、當局が大英斷をもつて一切の法律や理窟に超越して、火災保險會社に代つて火災保險金を拂つたならば、その金は市民の復興精神を買つて置くことになつたに相違ないのです。けれども、當局に英斷が無かつたゝめに其の買物をしなかつた。其のために東京市民の帝都復興の意氣は阻喪してしまいました。

つまり保險金を仕拂つたことによつて今日の市民を苦しめてゐることの大部分は救濟出來たに相違ないのです。

が、それは後のまつりだと云つてはなりません。今後は必ず大天災がないと誰が云ひ切ることが出來ますか？

一體、今の當局の市民に對する態度は、丁度、頭の惡いけれどもあまい親の子に對する態度と同じです。子のために資本を下して其の資本が利を生むように資’援護して働かせてこそ、子の生活も榮へ、親も安心であるのに、働かせようとはせず、子が甘へてねだるに任せて限りある資金のうちから限りない慾望を滿たさせてゐたのでは、いつか破產して親も子も共倒れになるのは火を見るよりも明らかです。

當局が英斷と聰明さを缺いてゐることが有形無形に我が帝都東京市を泥田の狀態にして置くのです。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯を終りて

先月の月末に宇治山田市へ行つて參りました。

名古屋から鳥羽行きの汽車に乘りかへて、すぐ、目につくのはあの邊の農夫の勸勉な手の跡です。廣い廣い見かすむ程廣い水田の大部分の土が鍬のあとあざやかに細長く盛り上げられ、美しく行列を成し、大根又は菜の新芽を土の上に見せて、そして、ミゾになつた處には水が光つてゐました。それ等の作物の手入れから歸へるらしい農夫の一群、六十を越へたらしい少し腰の曲がつたお婆さんを先頭に、中年の又は青年の男女が手拭を被り、日にやけた顔に夕日をあびて田のあぜ道をトボ〳〵と步いてゐました。

私の故郷あたりでは、秋に稻を刈り取つて水田は其のまゝ手も觸れずに打ち捨てゝあります。そして、春になつて、其の年の稻を植へ付ける用意に春田おこしと云ふのを始めます。これは隨分骨の折れる仕事とされてゐますが、併し、名古屋からの汽車から見るあの邊の農夫は稻を刈り取つた後にすぐ土を盛り上げて、又、稻を植へ付ける迄の間にもう一度收獲をしようとする其の勢力を考へ、その勢力に對する收獲は金につもつていくらになるかを思つた時私は悲壯な感にさへ打たれました。そして、目の前に見る、農事から歸へるらしい農夫の一群に對し、涙をうかべて「御苦勞さま」と云ひました。

六年前に八十四で他界した私の父が若い時「伊勢まいり」に行つた時の話を幼少の頃よく聞かされたのを私は思ひ起しました。家族とは水さかづきをするような心持ちで旅に出て辨食が一錢五厘とか宿料が四錢とか五錢とかで數ケ月かゝつて行つて來たゝ云ふようなことを。そして、其の時父はどの邊を步いたのだらうかとあちこち眺め廻して見ても其れは見當さへ付きませんでした。

夫喜吉氏の先祖は伊勢の田丸町から出てゐると云ふことを夫から聞いてゐる私は田丸驛から町の方へ目をやるのでしたが併し其處には小さい家がごちや〳〵して、處々に電柱が立つてゐるだけでした。私は其町に對し唯目禮をして通り過ぎました。

講演が終つてから、山田市の篤家濱田氏の御好意で外宮内宮を參拜することになりました。自働車でチラ〳〵する時ならぬ雪をついて走る時に、昔わらじをはいて其のへんをトボ〳〵步いた父が可哀想でなりませんでした。

外宮もさうですが殊に内宮は蒼古幽邃其のものです。雪がふる中を宇治橋の上に立つて水晶のように澄む五十鈴川の流と其處に連らなる神路山の森を眺むる時に、既でに〳〵自

分の體は塵の世を離れたかのような氣持ちになります。進んで、綠の毛氈を敷きつめたような芝生の處々に稚松が點綴する傍を砂利を踏んで、尙、進んで行けば、五六人が手を伸して〻抱へきれないような老柏、古松などがスク〳〵と天を衝いてゐます。「日光の杉林などに感心してゐる奴等に本當に此處を見せてやりたいですよ」とは濱田氏の言葉です。

一の鳥居をくゞつて五十鈴川の水に手を淸めて、左に進み、二の鳥居を又くゞつて、猶進み廣い石の階段を登りつめれば其處がやしろです。垣の外の衞守が見張つて居る處でコートや帽子を脫ぎ、傍の石の上に置いて垣の中に入り、マッチ箱のように小さい建物の中に御幣を手にした神主を左手に見て、一同は白木造りの淸淨無垢なる大廟の前にひざまづきました。私と同行した舜一郎は生れてまだ一度も敬神の念を外部に現したことは無かつたのですが、此の時ばかりは外の人のする通りに柏手して拜んでゐる姿を私はいじらしくもほゝえましく眺めました。そして「なにごとのおはしますかは知られども忝けなさに淚ながるゝ」と云ふ句を思ひ出すのでした。

內宮の占むる面積千二百町、その廣い場所にチリ一ッとゞめない淸淨其のものであることに驚歎し、紙屑や辨當のからの散亂する東京あたりの公園のみ見せられてゐる外國人に其處を見せて日本を誇つてやりたいと思ひました。

其の夜、夜行で歸京したいと思ひましたが「山田市まで來て、鳥羽港を見ないと云ふことはあかんです」と濱田氏にどなられてその翌朝、鳥羽の樋ノ山から鳥羽灣の風光を眺めて、二見ヶ浦を見物し其處から歸京の途につきました。

◎本號がいよ〳〵校了となつた時にエレンケー女史死去の報に接しました。哀惜の情に耐へません。

本誌臨時定價表

一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	送料共

誌代及郵稅は前金の事
送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと
郵券代用は五厘切手にて一割增
廣告は御照會次第御相談いたします

大正十五年四月廿三日印刷納本
大正十五年五月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區山吹町一九八
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八番